

令和3年度（2021）

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園

穴吹国際みらい専門学校

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園 穴吹国際みらい専門学校 学校関係者評価委員会は、令和3年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施いたしましたので、ご報告いたします。

令和4年 3月 24日

学校法人穴吹学園 穴吹国際みらい専門学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて穴吹国際みらい専門学校の自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、穴吹国際みらい専門学校が行なった教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2. 学校関係者評価委員会

(委員)

辻 芳子	企業等委員	社会福祉法人 幸栄福祉会 幼保連携型認定こども園 草戸こども園	理事長・園長
高橋 知恵	企業等委員	(株)クリエイティブ・ワイツー	
田島 建彦	元高等学校関係委員	元高等学校校長	
和田 愛加	卒業生代表委員		
松木 鈴	卒業生代表委員		

(学校教職員)

福島 圭吾	穴吹国際みらい専門学校	校長
信岡 誠三	穴吹国際みらい専門学校	副校長
壽福 英尚	穴吹国際みらい専門学校	教務部長

3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 令和4年3月24日(木) 18:30~20:00

開催場所 福山校入船校舎203教室

4. 自己評価結果の説明・報告(自己評価報告書参照)

当校の「教育理念」、「目的」及び「令和2年度の目標と計画」について説明。各自己評価項目について「評価結果(総括)」、「取組状況とその分析」、「今後の改善方策等」について報告。

各評価項目について、「A」十分である 「B」おおむね十分である 「C」やや不十分である 「D」不十分である の4段階にて評価。

①資料確認

②3ポリシー（アドミッション、カリキュラム、ディプロマ）について説明

③学生動向（入学生数、在籍数、卒業生数、休・退学率 等）について報告

④自己評価報告書

重点目標)

1. 各部署が一丸となり、OC捕捉率56%、出願目標78名、入学目標70名を達成する。
2. こども未来教育学科、社福・精神通信課程学科の募集のテコ入れを行い、学科の入学目標数を達成する。
3. 学生への早期対応と保護者との連携をより一層強化し、退学率3%未満を達成する。
4. 学科ごとの教育内容の更なる充実を図り、到達目標を明確にし、3ポリシーを浸透させる。

(目標達成のための具体的事業計画、行動計画)

1. 入船校舎での新たなOCの運営方法を早期に構築し、捕捉率を落とすことなく入学目標を達成する。
2. 問題学生の早期発見と組織対応、保護者との連携強化により、退学率3%未満を達成する。
3. 就職CC、留学生サポートセンターと協力し、日本人・留学生ともに2月末までに内定率100%を達成する。

×項目の内容と改善点などについて主に報告

- ・3-11-d 県内の他の専修学校・各種学校と協力・連携した教育を行っていますか
他の専修学校と連携した教育は実施できていない。
- ・3-12-a 学生が地域の産業、自然、歴史、文化等に触れることのできる授業等を行っていますか
国際ホテルビジネス学科は授業内で一部日本文化に触れるカリキュラムを実施できているが、他の2学科については授業内で産業、自然、歴史、文化に触れる内容のカリキュラムは実施できていない。
- ・5-2-c より高度な学習・研究ができるよう大学等との併修または接続が可能な体制等を取っていますか
大学との併修、接続体制は取れていないが、これまで編入などの希望者はおらずニーズは低いと思われる。
- ・5-11-a 卒業生の資格、検定等不合格者に対する対策を講じていますか
卒業後、担任レベルで支援・指導することはあるが、学校全体としての支援体制は整っていない。
- ・5-11-c 卒業生の能力向上のため、研修会等を行っていますか
同窓会と連携体制は構築されているが、学校主催での研修会等は実施できていない。
- ・5-12-a 大学等卒業生の入学に際し、入学前の履修に関しての取り扱いを学則・細則に規定し、適切に認定していますか
大学との単位互換がなく、学則・細則に規定できていない。

- ・5-12-b 教育訓練給付金対象の講座指定を受け、社会人入学生の学費軽減に努めていますか
最短修業年限で資格を取得できる学科（こども保育学科）を廃止した為、教育訓練給付金認可条件を満たしていない。
- ・6-4-b シェイクアウトや各県・市・町が行う防災訓練等に参加していますか
年1回消防避難訓練は実施しているが、行政が主催する防災訓練には参加出来ていない。
- ・10-4-a 県専各連合会の若年者職業意識涵養事業（県の委託事業）に積極的に参加していますか
県の事業には参加していないが、中・高校生に対しては教育連携により、マナー指導や面接指導、職業体験などの依頼を積極的に受託している。

（目標達成状況）

1. 入学目標
令和3年度 入学目標未達成（令和4年度生）
2. 退学率目標
令和3年度 退学率目標達成
3. 就職目標
令和3年度 就職目標達成

（今後の課題・改善方策）

1. 入学目標を達成するために、体験メニューの見直しやSPメニューの実施、WebOCへの注力など、これまで以上に捕捉率の向上に努める。
2. 年間のガイダンス回数を見直し、欠課率の高い学生や問題学生については早期での対応と併用して校内カウンセラーを積極活用し、退学目標を達成する。
3. 次年度は国際ホテルビジネス学科の就職活動フォローをこれまで以上に組織的に行い、早期内定および就労ビザ申請までスケジュールに組み込んだ内容で運営を行う。

5. 事業報告

①資料確認

②学生動向（入学生数、在籍生数、卒業生数、休・退学率 等）について報告

1. 学生数報告
年度当初107名、退学3名、休学1名、退学率2.8%、年度末での在校生数103名
2. 次年度学生数
出願30名、入学予定27名、
次年度学生数の減少は、こども保育学科の廃止、ブライダル・ホテル学科の入学者数半減、
コロナの影響により国内留学生数が減少していることが主な理由となる。

新年度在校生数82名（前年度より25名減となる）

こども未来教育学科 1年16名 2年12名 3年16名

ブライダル・ホテル学科 1年生7名 2年生14名

国際ホテルビジネス学科 1年生4名 2年生13名

3. 令和3年度 就職活動について

卒業生数46名、就職希望者39名、内定者39名、就職希望者内定率100% 業界内定率100%

4. 令和3年度資格取得報告

各学科の主要資格・検定取得率について

- ・こども福祉教育学科：保育士資格100% 幼稚園教諭2種免許100%
- ・ホテル・ブライダル学科：ブライダルコーディネーター技能検定3級90%
- ・国際ホテルビジネス学科：日本語能力試験90%

③保護者アンケートについて

回収率100%

どの設問もA、B評価が8～9割を占めるが、一部D評価あり。

D項目：9. 経済的側面に対する支援制度が充実している

13. 学校の設備や実習室等の設備が整っている

○高評価項目

4. 成績評価の基準が分かりやすい (A評価：70%)

16. 本校に入学させて良かったと思っている (A評価48%)

○保護者意見

- ・行事がなかったのが残念でした

5. 意見交換・質疑応答

- ・昨年度自己評価が×だったもので、今年度○になったものはあるか
学校再編があったため一概に比較できない部分もあるが、昨年まで×であったボランティア清掃の実施は今年度から本格的に取り組んでいる。
今後も継続して自己点検項目の×を一つでも減らせるようにしていく。
- ・令和2年度より女子寮を廃止したとあるが、何か理由があるのか？
2名1室である学生寮への入居希望者減少のため。現在は留学生用の寮として利用している。
- ・自治体が行なう防災訓練について、まず教職員で参加してみてもどうか？
学内で検討していく。
- ・国際ホテルビジネス学科の学生2名が内定取消となっているが、その理由は
学びの内容と業務内容が合わずビザが不許可になるケースがあった。
ビザがもらえる企業を学生に紹介する必要がある。

- ・保育に携わる上で求められる資格はあるか？
書類作成する機会が多いためパソコンスキルが求められる。
ピアノについては、苦手な人には低年齢のクラスに入るなど配慮している。
- ・ボランティア活動で保育園などを訪問することで、学生が子どもの様子や保育者として働く姿を知り、現場で求められることを学ぶ機会になっている。
- ・ブライダルを学ぶ学校としての設備が不十分ではないか？
ドレス、タキシードなどに触れながら授業を進められる環境整備を求める。
来年度はドレスなど必要な物を購入し、設備・備品を早いタイミングで充実させていく。

貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。これからも皆様のご期待に添えますよう、教職員一同、日々努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

以 上